

令和3年度 公益財団法人宇治市野外活動センター 事業報告書

1. 年度総括

豊かな自然を生かし、市民各層の交流と余暇時間の有効活用を図るとともに、過疎化の進む地域の振興を図る、という野外活動センターの設立目的や、平成 25 年に策定した長期運営計画に基づき、Make it together をテーマに計画的・安定的な経営を行った。

各事業の実施にあたっては SDGs 目標「3:すべての人に健康と福祉を」や「4:質の高い教育をみんなに」等の SDGs の理念を取り込んだ事業を展開し、SDGs の取組みを広め、公益性を高めた。

新型コロナウイルス感染症についても、職員お客様の健康チェックや各所の消毒など日常的な対策の徹底をはじめ、京都府の「新型コロナウイルス感染症感染拡大予防ガイドライン」や一般社団法人日本旅行業協会等が作成した「旅行関連業における新型コロナウイルス対応ガイドラインに基づく国内修学旅行の手引き」を参考に施設の感染予防対策を講じ、感染者が発生した場合も保健所や自治体と連携を図り適切に対応した。また、京都府の「きょうと魅力再発見キャンペーン」に参加し、利用の促進を図った。

施設管理においては経年による消耗・劣化箇所の点検修理を実施、緊急的な修繕も適宜実施し、お客様に安心安全にご利用いただけるよう努めた。

有限会社笠取ファームとは連携を密にし、イベント協力や新規メニューの販売、新型コロナウイルス感染症対策等、必要に応じて協議の場を設けた。

平成 29 年度からの指定管理契約最終年度となる令和 3 年度には公募による指定管理者選定に立候補し、これまでの実績をもとに既存事業の見直しや新規事業の提案等、事業を一から見直し、「豊かな自然の中で野外活動を楽しみながら日常生活を見直し、環境について考える機会を提供する。」「自ら学び自ら考える力を育むことができる教育施設として、活動の場を提供する。」「地域に根づいた事業を展開し、笠取地域の活性化、宇治市さらには近隣地域のグリーン・ツーリズムに貢献する。」の 3 つの目標を中心とした計画を提案した結果、選定委員会において引き続き次期指定管理者に選定された。

2-1. 公益目的事業

(1) 活動支援事業

お客様が施設を利用されるにあたり、円滑な活動ができるよう、活動の紹介やオンラインでの情報発信などにより支援を行い、体験を希望される際には、その実施について調整を図った。

また、より充実した活動プログラムの開発を行うための野外活動等に関する最新情報の収集を行った。

(支援の例) 天体観察での天文プログラムの実施、陶芸や木工作品等の創作活動の指導・助言、農業体験やふるさと体験等の紹介、ホームページ・メールインフォメーション・SNS によるイベントや施設の情報発信

(2) 野外活動奨励事業



参加無料のイベントを開催し、市民が気軽に野外活動に親しめる機会を提供するとともに、幅広い層に野外活動センターの利用が促進されることを目指した。






また、活動プログラムの充実を図るための最新情報の収集や、ホームページ、SNSでの情報発信を行った。






新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、センターが募集するプログラムに関しては万一の際追跡できるよう連絡先を記入していただいた。


◎野外活動奨励事業(令和3年度総参加者総数 3,868名)

※令和2年度総参加者数 3,498名

実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
4月2日(金)	春のグラウンド・ゴルフの日&講習会	日頃のグラウンド・ゴルフ利用者に感謝の気持ちを込めて、1日無料でプレーしていただける日を設けると、新たにグラウンド・ゴルフを始めようと思っている方を対象に、基本のプレーの仕方及び、アクトパル宇治での大会参加方法などを含め、30分間の講習会を行った。 参加者 100名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
4月5日(日)	アクトパル 春のひろば(中止)	桜が見頃の時期に地元特産品の販売や市民グループ・障害者施設の来店を行うことで、市民が自然に親しむ機会を創出し、地域振興・交流の機会につなげる予定だったが、雨天中止となった。 参加者 0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	

実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
6月6日(日)	アクトパルであそぼう!(中止)	新緑の時期にスタンプラリー、丸太切り体験、工作などの自然豊かな施設の特徴を生かした多彩なイベントを実施することによって、市民が自然に親しむ機会を創出する予定だったが、コロナによる施設休所のため中止となった。 参加者 0 名	令和 2 年度 0 名 (コロナで中止)	
8月7日(土)～ 9日(月・祝)	山であそぼう!	密を避けるために3日間に分散して開催した。子どもたちを対象にした「川の生き物調査隊」では、笠取川にどんな生き物がいるかを調べてもらったり、虫に詳しい高校生を講師に標本づくりの実演など、山川の自然を身近に感じてもらう機会とした。 参加者 139 名(3日間合計)	令和 2 年度 267 名 (3日間合計)	 
9月3日(金)	秋のグラウンド・ゴルフの日&講習会	グラウンド・ゴルフ場を無料開放し、初心者向け講習会を開催することで、生涯スポーツとしてのグラウンド・ゴルフの普及を図る予定だったが、コロナによる施設休所のため中止となった。 参加者 0 名	令和 2 年度 29 名	
10月10日(日) 予備日 10月17日(日)	秋のひろば	地元及び関係団体、市内福祉施設の方にご協力いただき、やきいもや特産品の販売・手作り品の販売・陶芸の展示即売・クイズラリー・笠取小学校の子どもたちによる和太鼓演奏・陶芸クラブ作品展示会を行った。コロナ対策として、いもほり・野菜の収穫・コマづくりなどは先着順で整理券制とし、人数を制限して行った。 参加者 2,094 名	令和 2 年度 2,160 名 (2日間開催)	

実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
10月31日(日)	ハロウィンをたのしもう!	ハロウィンの時期に合わせて、かぼちゃの飾りの工作・仮装の服作り・ファッションショーなどを通じて風習や手作りの楽しさを味わえるイベントを実施した。 参加者 158 名	令和2年度 309 名	
12月～ 令和4年2月	わいわいホリデー(全15回)	ゆったり過ごしてもらえる館内のホールで、季節にちなんだ工作を盛り込み、「冬でも楽しめる」アクトパルの広報と冬場での楽しさを提供した。 簡単に作って遊べるブーメランや塗り絵、月替わりの有料工作、大浴場の無料開放を行い、冬期の集客を目指した。 参加者 1,134 名	令和2年度 682 名 (全9回実施)	
12月12日(日) 令和4年 1月9日(日) 1月10日(月・祝) 2月20日(日)	体育館であそぼう(全4回)	体育館を無料開放して、冬でもスポーツを楽しめる場を提供し、アクトパルの体育館を知ってもらう機会にした。 密を避けるために整理券制にしたり、道具を使う際の消毒の案内を徹底した。 参加者 180 名(4回合計)	令和2年度 51 名 (1回実施)	
1月～2月 (毎週土曜日)	笠取交湯会(全8回)(中止)	笠取地域の住民を対象に大浴場を開放することにより、交流の場を提供し、地域との結びつきを深める予定だったが、コロナの影響を受け、地元の方の安全を考慮し、目的を達成することが困難と判断し中止とした。 参加者 0 名	令和2年度 0 名 (コロナで中止)	
1月8日(土)	獅子舞演舞&もちつき	炭山の市民グループ「自然と文化の会」による獅子舞の演舞と杵と臼でつくもちつき大会で、古くから受け継がれる伝統や風習を学ぶ機会を設けていたが、コロナ禍で獅子舞の活動をされておられなかったため中止となった。 参加者 0 名	令和2年度 0 名 (コロナで中止)	





実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
1月15日(土) 2月26日(土)	星空オープンデー(全2回)	施設内の望遠鏡などの天体観察設備の特長を生かし、星空に関心を持ってもらうために、天体観察施設を開放した。密を避けるために整理券制とし、冬の天文現象に応じたテーマで星空解説や観望を行った。 参加者 63名(2回開催)	令和2年度 0名 (コロナで中止)	





(3)活動体験事業






丁寧なサポートと充実したプログラムを提供するために、定員を設けた有料イベントを企画・実施し、生涯学習の推進を図った。新型コロナウイルス感染防止対策として、募集定員を半数に縮小、施設利用時の参加者同士の距離確保、プログラムを短時間化、参加家族同士の交流も避け、感染発覚時に参加者の追跡ができるようにした。イベント時は検温・体調確認・手洗い・消毒・マスクの着用・ソーシャルディスタンス確保を徹底した。






◎活動体験事業(令和3年度総参加者数 1,424名)






※令和2年度総参加者数 2,912名






実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
4月24日(土) 6月19日(土)	(令和2年度事業) 畑体験つづき(収穫)	令和2年度の11月に玉ねぎの苗植え、3月にじゃがいもの種いも植えで行ったものの収穫をした。施設休所のためイベントとして集まることができなかったので、参加者に向けて収穫の仕方をオンライン配信し、参加者各自で収穫してもらった。 参加者 12組 46名	令和2年度 45名 (6月のじゃがいも収穫のみ)	 
4月25日(日)	春の野草探しとヨモギだんごづくり (中止) 募集 6組 24名	施設内での野草摘みを通じて、食用にできる植物を説明し、実際に摘んだヨモギを材料にしたヨモギだんごを調理したり、野草茶作りを楽しんでもらう予定だったが、コロナによる施設休所のため中止した。 応募者 45組 167名 / 参加者 0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	 





実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
5月4日(火・祝) 5日(水・祝) ※9月に稲刈り収穫体験	田んぼ体験～田植え&稲刈り～(中止) 募集5日:10組40名/6日10組40名	地元農家の協力により、田んぼで田植えと稲刈りの両方を経験し、植えた稲苗が田んぼで育つ観察と、昔ながらの稲刈り等を行うことで自然の恵みを体感し、食べ物を大切にする心の醸成につなげるイベントを実施予定だったが、コロナによる施設休所のため中止した。 応募者5日:24組84名/6日29組111名 参加者5日:0名/6日:0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
5月15日(土) 16日(日)	お茶つみ体験&茶団子づくり(中止) 募集15日:6組24名/16日6組24名	研修室でお茶の歴史や種類、つみ方の説明をした後、施設内の茶畑で茶つみ・製茶体験と、電子レンジを使った茶だんご作りにも挑戦し、お茶と一緒に試食してもらう予定だったが、コロナによる施設休所のため中止した。 募集15日:6組24名/16日6組24名 応募者15日:21組76名/16日52組187名 参加者15日:0名/16日:0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
5月30日(日)	アクトパル de サバイバル(中止) 募集6組24名	何種類かの道具を使って火おこし体験やシェルターづくりなど、参加家族同士が協力しあいながら楽しめる内容で行う予定だったが、コロナによる施設休所のため中止した。 応募者0名/参加者0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
6月26日(土) 27日(日)	じゃがじゃがクッキング 募集26日:6組24名/27日:6組24名	(有)笠取ファームの畑でじゃがいも掘りと水菜の収穫を体験した。好きな調味料等を持ち込んでもらい、採れたてのじゃがいもと水菜を使った料理を楽しんでもらった。 応募者26日:17組66名/27日:26組92名 参加者26日:6組21名/27日:5組18名	令和2年度 22名 (雨天のため、1日のみ)	




実施日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
7月4日(日)	藍染をたのしもう！(新企画) 募集 6組 24名	アクトパルで育てた藍の乾燥葉を利用し、藍染講師の指導で、ハンカチや綿の素材に模様をつける藍染の実技を通じて、伝統工芸に親しんでもらった。 応募者 25組 82名／参加者 6組 17名		
7月17日(土) 18日(日)	流しそうめんセットをつくろう！ 募集 17日:6組 24名／18日:6組 24名	家族ごとに竹を材料とした流しそうめんの台や食器づくりを行った。モノづくりの楽しさを共有することにより、家族のきずなを深める機会とした。 応募者 17日:29組 108名／18日:61組 250名 参加者 17日:6組 22名／18日:6組 21名	令和2年度 43名 (2日開催)	
7月22日(日) (2回開催)	陶芸教室～入門編 募集 AM:6組 24名／PM6組 24名	陶芸を始めたい人のために、初心者向けの教室を開催し陶芸に親しんでもらうとともに、より上級の作品に取り組めるように陶芸家に指導していただいた。予定した日程がコロナによる施設休所のため、延期して実施した。 応募者 AM:22組 79名／PM:8組 26名 参加者 AM:6組 20名／PM:5組 18名	令和2年度 45名 (2回開催)	
7月31日(土)	虫ムシ大作戦 募集 6組 24名	虫捕りや観察を通じて身近な自然に親しむため、より昆虫などの集まる夕方からの実施とし、ライトトラップを仕掛けたり、昆虫の観察をし、豊かな生態系を守ることの大切さを学ぶ機会とした。 応募者 47組 135名／参加者 6組 21名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
8月1日(日) (2回開催)	夏休み親子工作デー 募集 AM:5組 20名／PM:5組 20名	木工指導集団 WOODY MATE UJI の指導のもと、親子で課題作の「マンカラ」作りを行った。親子で協力して木工作品作りに取り組むことによる協力関係を築ききっかけづくりと、講師の指導による工作道具の正しい使い方なども学び、モノづくりの楽しさを体感してもらった。 応募者 AM:17組 45名／PM:11組 31名 参加者 AM:5組 15名／PM: 5組 13名	令和2年度 14名 (1日で実施)	



開催日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
8月22日(日)	ちびっこアウトドア(中止) 募集小学生 20名	学生ボランティアにご協力いただき、小学生を対象に野外炊事で昼食づくりや、広場での集団遊びや川遊びなどを予定していたが、コロナによる施設休所のため中止となった。 応募者 14組 21名/参加者 0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
8月28日(土) ~29日(日)	家族 de キャンプ(中止) 募集 6組 24名	キャンプ初心者家族が気軽に参加できて、普段と違った環境の中での家族内の交流、キャンプやアウトドアに親しむ契機となることを目指すプログラムを組んでいたが、コロナによる施設休所のため中止となった。 応募者 33組 116名/参加者 0名	令和2年度 21名	
9月11日(土) 12日(日)	アウトドアクッキング(中止) 募集 11日:6組 24名/12日:6組 24名	地元のイタリア料理店シェフに生地づくりから教わる窯焼きピザづくり体験を通じて、アウトドアでの料理を楽しみながら食育を学ぶ機会とする予定だったが、コロナによる施設休所のため中止となった。 応募者 11日:6組 22名/12日:19組 68名 参加者 11日:0名/12日:0名	令和2年度 20名/21名	
10月23日(土) 24日(日)	いもほり&クッキング 募集 23日:6組 24名/24日:6組 24名	畑でいもほりをしたあと、炊事棟でダッチオーブンを使った石焼きいも、すいとん、さつまいもごはんなど、掘りたてのさつまいもを使ったアウトドアクッキングを楽しんでもらった。 応募者 23日:28組 105名/24日:46組 182名 参加者 23日:6組 22名/24日:6組 23名	令和2年度 14名/22名	
11月3日(水・祝)	燻製をたのしもう!(新企画) 募集 6組 24名	段ボール燻製器の製作や、桜チップを使って燻す方法を取り入れ、手軽に燻製をたのしんでもらった。また、燻製の技法を知ること無駄のない食材の消費を考える機会としてもらった。 応募者 38組 148名/参加者 6組 21名		



開催日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
11月6日(土) 令和4年 3月6日(日)	畑体験 ～玉ねぎの苗と種いもの植え付け&収穫～ 募集13組50名	(有)笠取ファームの協力により、玉ねぎとじゃがいもの栽培を体験してもらった。11月に「玉ねぎ苗の植え付け」、令和3年3月に「じゃがいもの植え付け」を実施した。参加者に向けて畑の様子をブログで配信した。令和4年4月に玉ねぎの収穫を行い、令和4年6月18日(土)にはじゃがいもの収穫を行う。 応募者14組51名/参加者11月14組45名 3月9組29名		
11月14日(日) (2回開催)	おそとでたのしむそば打ち体験 募集5組20名	室内でのそば作りの経験を活かし、野外でも手作りのそばが楽しめるよう工夫するとともに、ふるさとの食文化や手作りの楽しさを体感してもらった。 応募者16組67名/参加者5組22名	令和2年度0名 (コロナで中止)	
11月20日(土) 21日(日)	ふるさとを味わおう 募集20日:6組24名/21日:6組24名	(有)笠取ファームの協力によりひき臼を使ったきなこづくりや、杵と臼を使ったもちつきを通して、地域に伝わる昔の道具の使い方や食べ物の文化に触れてもらった。参加者全員での共同作業は避け、申込グループごとで作ったものを食べてもらう工夫をした。 応募者20日:16組65名/21日:18組65名 参加者20日:6組22名/21日:6組20名	令和2年度21名/20名	
11月23日(火・祝)	秋のピクニック 募集6組24名	施設周辺の紅葉を楽しみながら散策し、お気に入りの葉っぱをみつけて落ち葉ランキングシートを作成し、五感で楽しむ体験をもらった。また焚き火をして笠取産のさつまいもを使った焼きいもも行い、笠取の秋の一日を楽しんでもらった。 応募者16組56名/参加者5組15名	令和2年度21名	
12月5日(日) (2回開催)	クリスマスリースづくり 募集AM:6組24名/PM:6組24名	施設周辺の植物など、自然の素材を生かしたオリジナルのリースづくりをってもらうことで、笠取の豊かな自然に触れ、家族でクリスマスの準備を楽しんでもらった。 応募者AM:19組64名/PM10組33名 参加者AM:6組16名/PM:6組15名	令和2年度22名/17名	

開催日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
12月12日(日)	ダッチオープンでケーキをつくろう！(新企画) 募集6組24名	クリスマスの時期に合わせて、ダッチオープンを使ってパウンドケーキを作った。持参のトッピングでオリジナルケーキにし、家族でアウトドアでのクリスマスを楽しんでもらった。 応募者20組74名／参加者6組25名		
12月18日(土) 12月19日(日)	バウムクーヘンをつくろう！ 募集18日:5組20名／19日:10組40名	寒い冬に野外でのバウムクーヘン作りに挑戦することによって、アウトドアの料理の奥深さに触れるとともに、家族で協力し作り上げることでコミュニケーションを深めてもらった。また、炊事棟改修工事のため、組数を減らした。 応募者18日:14組55名／19日:33組116名 参加者18日:4組16名／19日:10組37名	令和2年度 39名／38名	
12月25日(土) 12月26日(日)	ミニ門松・鏡もちづくり&もちつき 募集25日:6組24名／26日:6組24名	竹や松葉などを使ってのミニ門松づくりと、もちつき、ミニ鏡もちづくりを体験することで、古くから受け継がれている伝統や風習に親しみながら、家族で迎春準備を楽しんでもらった。 応募者25日:15組58名／26日:34組130名 参加者25日:6組23名／26日:6組23名	令和2年度 25名／23名	
令和4年 1月10日(月・祝)	陶器のランタンづくり 募集6組24名	講師が独自開発された切り絵象嵌という技法を用い、筒状のランタンを陶土で作った。一味違った陶芸の楽しさに触れてもらった。 応募者19組67名／参加者5組19名	令和2年度 24名	
1月16日(日)	冬のぼかぼかハイキング 募集5組20名	アクトパルから東笠取まで、石碑や名木などについて説明を聞きながら地域の史跡を巡るハイキングを行った。地元しいたけ農家や称名寺を見学しながら、地元の方との交流も楽しんでもらった。 応募者7組20名／参加者4組11名	令和2年度 10名	

開催日	事業名	内容と応募者・参加者	備考	SDGs 目標
1月23日(日)	冬のアウトドアクッキング 募集 6組 24名	地元野菜や鶏肉を材料に、家族でダッチオーブンを使ったクッキングに挑戦することでコミュニケーションを図ってもらうとともに、冬のアウトドアの楽しみ方を知ってもらった。 応募者 13組 50名／参加者 6組 20名	令和2年度 16名 (延期で3月に実施)	
2月11日(金・祝)	陶芸教室 募集 AM:6組 24名／PM:6組 24名	電動ろくろを体験してもらう「ろくろ編」を実施予定だったが、対面での指導が困難と判断し、入門編に変更した。陶芸家を講師に迎え、陶芸の基礎(たま作り、ひも作り、板作り)の実演を書画カメラでスクリーンに映し出し、参加者に見てもらったあと、好きな作品を1つずつ作ってもらった。 応募者 AM:12組 38名／PM:17組 61名 参加者 AM:4組 12名／PM:6組 18名	令和2年度 25名／23名	
2月13日(日) (2回開催)	椎茸の菌打ち体験 募集 AM:6組 24名／PM:6組 24名	地元農家の方にご協力いただき、菌打ちや育て方の工程を説明をしていただき、笠取の農業・特産品を知るきっかけとした。菌打ちしたほだ木を持ち帰り、家で育て食することで食育にもつなげた。 応募者 AM:9組 31名／PM:11組 39名 参加者 AM:6組 19名／PM:6組 22名	令和2年度 17名／18名	
2月23日(水・祝)	冬の木工教室 募集 AM:6組 24名／PM:6組 24名	参加者同士が長時間滞在する状況と食事を伴うイベントを避けるため、当初1泊2日の予定を日帰り2回(午前・午後)に変更して募集し、短時間で実施した。 木工指導集団 WOODY MATE UJI の指導のもと、ルードー(すごろく)作りを行った。親子で協力し、完成後は作品で遊んでもらった。 応募者 AM:6組 22名／PM:6組 21名 参加者 AM:2組 7名／PM:3組 10名	令和2年度 21名／10名	

開催日	事業名	内容と応募者・参加者	備考	SDGs 目標
2月26日(土) 2月27日(日)	手打ちうどん教室(中止) 募集26日:6組24名/27日:6組24名	うどん打ちの講師による笠取の名水を使ったうどん作りを通じてふるさとの食文化や手作りの良さを学ぶ予定だったが、コロナでまん延防止措置が適用され、飲食を伴うイベントを実施することが出来ず、中止した。 応募者26日:8組30名/27日:19組63名 参加者26日:0名/27日:0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
3月19日(土) ~20日(日)	ちびっこキャンプ(中止) 募集小学校高学年20名	初対面の子ども達が協力して野外炊飯・工作等を行うことで交流を図るとともに、野外活動の場を創出し、学生ボランティアをリーダーにすることで学生が野外活動の指導力を習得する予定だったが、コロナでまん延防止措置が適用され、参加する子ども達や学生方の安全を考慮し中止とした。 応募者0名/参加者0名	令和2年度 0名 (コロナで中止)	
3月27日(日)	BBQをたのしもう! 募集6組24名	行楽シーズンに向けたBBQ利用拡大を目指して、調理道具の種類や使い方、火の起こし方や調理方法を説明し、参加者に実践してもらった。チキンサンドなど焼き肉以外の料理にも挑戦し、アウトドア料理の幅を広げるきっかけづくりとした。 応募者15組64名/参加者6組24名	令和2年度 16名	

開催日	事業名	内容と応募者・参加者	備考	SDGs 目標
令和3年 ① 6月19日(土) ② 7月17日(土) ③ 11月3日(水・祝) ④ 11月7日(日) ⑤ 12月11日(土) ~12日(日) 令和4年 ⑥ 3月12日(土)	天文教室(6回) 募集6組24名 ①「天体望遠鏡製作」(中止) ②「夏の星座」 ③「太陽系について知ろう!」 ④「ペットボトルロケット」 ⑤「宿泊天文教室」 ⑥「プラネタリウム体験」	天文ボランティアが講師となり、季節や天文現象にあわせたテーマにそってお話や工作などを交えた、より内容の深い天文イベントを行った。 ①応募者9組28名/参加者組0名(コロナで施設休所により中止) ②応募者19組63名/参加者6組18名 ③応募者18組52名/参加者5組15名 ④応募者18組53名/参加者6組18名 ⑤応募者19組63名/参加者6組21名 ⑥応募者9組26名/参加者6組18名	令和2年度(5回) ①手作り天体望遠鏡で月をみよう! 16名 ②準大接近する火星と惑星について知ろう! 20名 ③星座傘をつくろう! 18名 ④宿泊天文教室 15名 ⑤ここがすごい! はやぶさ2のお話 16名	
令和3年 ① 4月10日(土) ② 5月6日(木)中止 ③ 6月5日(土)中止 ④ 7月10日(土) ⑤ 9月25日(土) ⑥ 10月16日(土) ⑦ 11月5日(金) ⑧ 12月4日(土) ⑨ 令和4年 1月6日(木) ⑩ 2月19日(土) ⑪ 3月5日(土) ● 3月18日(金)	グラウンド・ゴルフ大会 募集50名 ●チャンピオン大会	定期的に主催大会を実施し、グラウンド・ゴルフを通して高齢者の健康促進と、自然とのふれあいやプレーヤー同士の交流の場を提供した。 (全11回+チャンピオン大会) ①応募者54名/参加者50名 ②・③コロナで施設休所により中止 ④応募者67名/参加者50名 ⑤コロナで施設休所により中止 ⑥応募者33名/参加者31名 ⑦応募者41名/参加者40名 ⑧応募者28名/参加者28名 ⑨応募者51名/参加者51名 ⑩応募者66名/参加者64名 ⑪応募者54名/参加者49名 ●1年の成果を確かめるために年間通算成績上位の方を対象にした大会を開催した。 参加者33名 計396名	令和2年度(8回) ①~④コロナで中止 ⑤49名 ⑥59名 ⑦63名 ⑧52名 ⑨50名 ⑩62名 ⑪55名 計449名	

開催日	事業名	内容	備考	SDGs 目標
令和3年 ① 6月20日(日)中止 ② 7月11日(日) ③ 11月27日(土) ④ 11月28日(日) 令和4年 ⑤3月19日(土) ~20日(日)	アウトドアクラブ(全4回) 募集6組24名 ①「火おこし&アクトパルであそぼう」 ②「火おこし&テント設営&BBQ」 ③「手作りアウトドアグッズ&ピザづくり」 ④「ダッチオープン料理」 ⑤「冬キャンプ&たき火料理&記念工作」	年5回の連続講座で、初回は火おこしなどのアウトドアの基礎を学び、ステップアップしながら最終回はキャンプ場で宿泊し、自立してアウトドア活動ができることを目指し企画したが、コロナで施設休所や食事を伴うイベントが中止となったことをうけ延期になった日が多く、参加できなかった家族が多かった。最終回は三角広場でのオートキャンプモニターになっていただき、今後のアクトパルでの新たな施設活用の参考とした。 応募者16組64名 参加者①0名②6組21名③4組13名④5組17名 ⑤3組10名	令和2年度 ①5月24日(日) 「グラウンド・ゴルフ&アウトドアクッキング」 ②7月12日(日) 「流しそうめん大会&スイカ割り」 ③9月13日(日) 「燻製&陶芸体験」 ④11月29日(日) 「クリスマスリース・ケーキづくり&お楽しみ会」 ⑤2月6日(土)~7日(日) 「宿泊&もちつき&たき火&記念工作」 各回12組45名	
令和3年4月8日(木) ~令和4年3月29日 (火)	陶芸クラブ 募集なし (全42回) 4月末~6月末、8月末~9月末までコロナで施設休所のため中止	月4回~6回程度の陶芸の日を楽しんでもらい、作品は10月の展示会で披露した。利用時の密を避けるために参加者を2班に編成し、分散して来てもらえるようにした。 参加者49名・のべ参加者456名	令和2年度 クラブ員49名 のべ862名	

(4) 宇治市総合野外活動センター管理運営事業（定款第4条第4号 宇治市総合野外活動センターの管理及び運営の受託）

①施設の管理運営

総合野外活動センターの管理運営を宇治市より指定管理者として受託し、施設の管理運営業務を行った。

②新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染拡大防止対策として一部の施設の利用を休止した。

利用者には手指消毒・手洗い・うがい・マスクの着用・ソーシャルディスタンスの確保・屋内での換気に協力を依頼した。

宿泊利用者数	11,516人（令和2年度8,401人）
日帰り利用者数	34,385人（令和2年度53,732人）
総利用者数	45,901人（令和2年度62,133人）

2-2. 収益事業

宇治市より受託する宇治市総合野外活動センターの運営において、体験活動や学校教育活動などを目的とせず、宿泊施設のみの利用や企業の研修利用なども受け入れた。

3. 積立事業

工作棟において開設当初から使用している電気陶芸窯の老朽化が進んでおり、人気の高い陶芸プログラムのサービスを維持するために、新たな陶芸窯を取得する目的で、工作棟の陶芸窯を購入する費用として令和元年度から令和4年度までの4年間で170万円を限度額として積み立てを計画し、令和3年度は約70万円を積み立て、積立合計は168万8,281円となった。